

編集後記

6月15日の当センター第5回定期総会で宮崎伸光理事長が就任しました。宮崎理事長による「数字で掴む自治体の姿」は連載10回目になりますが、今回は番外編その2として、県内各町村の財政健全化に係る指標について書いていただきました。

総会後に記念講演会を開催し、神奈川県地方自治研究センター理事長の上林得郎先生に「安倍政権と地方行財政改革の行方」と題して講演をしていただきました。今号に講演録を収録しましたが、上林先生には、現在の地方財政の基礎をなす地方財政計画と地方交付税のしくみから丁寧にお話ししていただきました。また、安倍政権になって、一括交付金が廃止され補助金が復活するなど、分権化に逆行する動きが強まっていることへの危機感が示されるとともに、人口減少社会のもとで公共事業が拡大されることについて、経済成長がすべてを解決するという考え方はやめた方がいいと強調されました。

本年7月から申龍徹さんが当センターの主任研究員になりましたが、今号から申さんの連載「自治体政策形成のキーワード」が始まりました。銚子市職労の大網さんに東日本大震災の体験を風化させてはならない、として実施した職員等アンケートについて基本的な考えを書いていただきました。調査結果は集計中のため、今回は概要になりましたが、とりまとめ次第、報告集を作成することですので、楽しみに待ちたいと思います。

10月26日(土)14時から千葉県教育会館で当センターの定例講演会「公共サービスの改革とその担い手」を開催します。申龍徹さんが講師を務め、講演に続いて申さんと宮崎理事長の対談を行います。また、来年2月15日(土)に次回講演会の開催を予定しています。演題、講師等はおってお知らせいたします。

事務局長 宮原 一夫

自治研ちば VOL.12

2013年10月16日発行

発行 一般社団法人千葉県地方自治研究センター
千葉市中央区中央4-13-10 千葉県教育会館別館3階
TEL 043-225-0020 FAX 043-225-0021

編集 宮原一夫

印刷 ㈱メロウリンク企画

頒価 800円(送料別途)